模擬試験問題の解答

問題 1

1．イ　2．ウ　3．ア　4．エ　5．ウ

問題 2

＜設問 1＞

6．11,570,193　7．706,860　8．3,742,200　9．748,440　10．41,580

11．539,507　12．969,450　13．19,983,113　14．1,746,900　15．338,078

＜設問 2＞

16．ア　17．ウ　18．イ　19．ウ　20．エ

模擬試験問題の解説

(1) 問題１の解説

1. 会計ソフトに入力された電子取引データは、勘定科目や補助科目ごとに総勘定元帳や補助元帳などに分類されます。また、勘定科目や補助科目の集計数値は貸借対照表、損益計算書、補助残高一覧表などに反映されます。

　例えば、商品の販売データは、総勘定元帳の売掛金勘定と売上勘定、補助元帳の得意先名勘定に分類されます。売掛金勘定や売上勘定の借方・貸方の合計や残高は、貸借対照表の売掛金勘定や損益計算書の売上勘定に集計され、得意先名勘定のこれらの数値は補助残高一覧表に集計されます。なお、貸借対照表や損益計算書は残高試算表の画面で確認することができます。

2. 会計ソフトの操作ミスやパソコンのトラブルによって、電子会計データの一部または全部が消失する場合があります。そのような場合に備えて電子会計データのコピーを取ることをバックアップといいます。バックアップは定期的に行い、バックアップデータの保管・管理には十分注意する必要があります。

　また、バックアップされた電子会計データを復元することを、リストアと呼びます。

3. 勘定科目には、補助科目を設定することができます。補助科目が設定された勘定科目は勘定科目ごとに分類・集計されるとともに、補助科目ごとにも分類・集計されるため、補助科目ごとの残高や明細を確認する場合に便利です。

　例えば、複数の普通預金口座を使用している場合に、普通預金勘定に預金口座ごとの補助科目を設定すれば、貸借対照表で普通預金勘定の残高を確認できると同時に、補助元帳や補助残高一覧表などで、預金口座ごとの明細や残高を確認することができます。

4. 経費や買掛代金などの支払取引では、一般的に請求書や領収証などが発行されるため、これらの書類により支払いの事実を確認することができます。ところが、地代や家賃の支払いを銀行預金口座からの自動振替としている場合には、支払先から請求書や領収証が発行されないことがあります。この場合は、預金通帳の記帳面からその支払日、支払額、支払先を確認します。支払金額には、振込手数料相当額が含まれていることがあるので注意が必要です。

5. 得意先に対して反復して継続的に取引があるときは、通常の場合、その都度代金を請求せずに、一定期間ごとに区切って、その間の取引をまとめて請求します。この取りまとめの期日を締日といいます。

　例えば、「20 日締め、25 日請求、翌月 10 払い」といった場合には、前月 21 日から当月 20 日までの取引をまとめて、その代金を得意先に 25 日に請求し、得意先は翌月 10 日にその代金を支払うという意味になります。

(2) 問題 2 の解説

①問題データ入力の準備について

本問では、既に 4 月まで入力済みの電子会計データに 5 月分の会計データを追加することになります。そこで最初に、模擬試験問題データを読み込みます。次に、下記の「証憑（しょうひょう）書類等の見方と取引の入力についての留意点」に注意しながら、資料 1～9 の証憑書類等に基づいて 5 月分の会計データを入力します。

②証憑書類等の見方と取引の入力についての留意点

i）領収証・レシート

領収証やレシートは、代金を支払った時に相手先から取得する代金支払いの証明書です。

領収証には、発行日付（通常は、支払日と同じ）、支払者の名称、金額、ただし書き、発行者の名称等および印などが記載されています。ただし書きには、取引の内容や売買された物品の名称などを記載します。

領　収　証

株式会社ＸＹＺ　様

★ ¥2,376.－

但　清掃用具代として

上記正に領収いたしました

平成27年5月3日

ＸＹ市ＺＡ町1-5-7

雑貨○○商店

印

一方、レシートには、発行者の名称等、発行日付（通常は、支払日と同じ）、売買された物品等の明細と金額、合計金額、消費税等の額、預り金額、釣り金額などが記載されています。

Ｙ堂

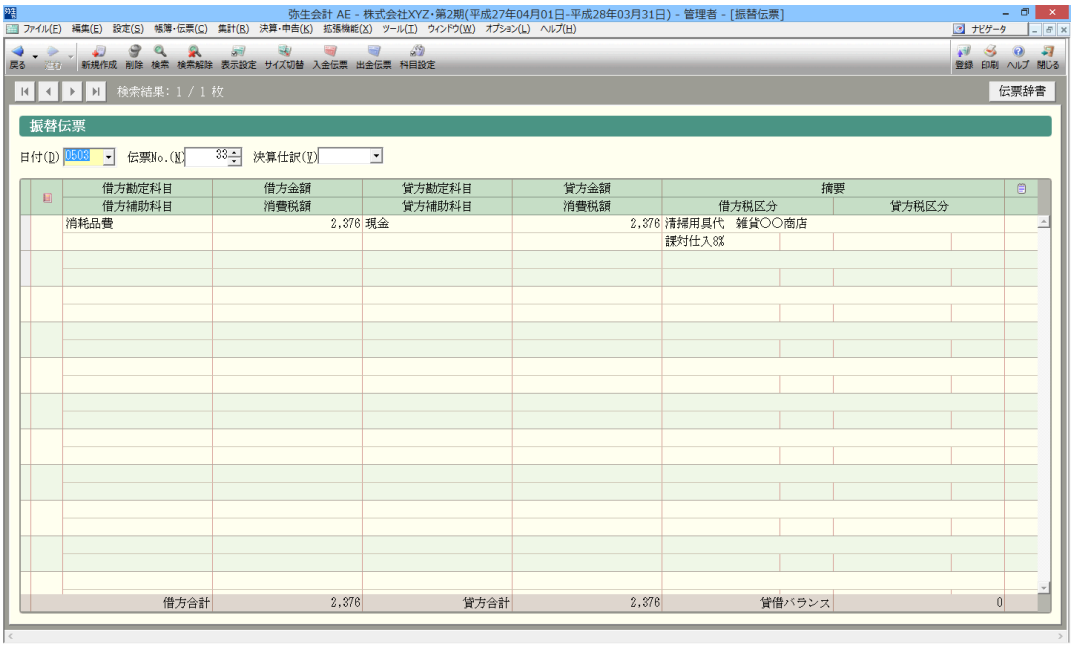
2015年5月12日

文房具	1,016
文房具	1,522
文房具	2,538

合計	5,076
内税	376
預り	10,000
釣	4,924

領収証やレシートは、振替伝票画面、出金伝票画面、現金出納帳画面などから会計ソフトに入力します。

入力日付は､通常の場合は発行日付です｡現金の相手勘定科目である借方勘定科目は、ただし書きやレシート明細から判断します。また、貸方勘定科目は､「すべて現金で支払い」という問題の指示により、現金勘定です。金額には税込金額を入力し、摘要には、ただし書きや発行者の名称等から取引の内容を簡潔に入力します。



（5 月 6 日の領収証の入力例）

なお、本問では次のように処理しています。上記の要領で入力してください。
記号の意味：(借)＝借方、(貸)＝貸方、(摘)＝摘要

日付	領収書・レシート	会計処理
5/3	領　収　証 株式会社ＸＹＺ　様 ★ ¥2,376.－ 但　清掃用具代として 上記正に領収いたしました 平成27年5月3日 ＸＹ市ＺＡ町1-5-7 雑貨○○商店　印	(借)消耗品費　2,376 (貸)現金　2,376 (摘)清掃用具代　雑貨○○商店
5/5	領　収　証 株式会社ＸＹＺ様　平成27年5月5日 ★ ¥7,452.－ 但　出張旅費精算金として 上記正に領収いたしました ＸＹ市ＺＡ町1-3-5 ○山△子　印	(借)旅費交通費 7,245 (貸)現金　7,245 (摘)出張旅費精算　○山△子

5/6	領　収　証 株式会社ＸＹＺ　様 ★ ¥9,288.－ 但　ご飲食代として 上記正に領収いたしました 平成27年5月6日 ＸＹ市ＺＡ町3-3-3 レストランＮ 印	(借)交際費　9,288 (貸)現金　9,288 (摘)接待飲食代　レストランＮ
5/9	領収証書 毎度ありがとうございます ＸＹ市ＺＡ郵便局 2015年5月9日 収入印紙　9,000 合計　9,000 現金お預り　10,000 お釣り　1,000	(借)租税公課　9,000 (貸)現金　9,000 (摘)収入印紙代　XY市ZA郵便局

5/12	Ｙ堂 2015年5月12日 文房具　1,016 文房具　1,522 文房具　2,538 ---------- 合計　5,076 内税　376 預り　10,000 釣　4,924	(借)消耗品費　5,076 (貸)現金　5,076 (摘)文房具代　Ｙ堂

日付	領収書・レシート	会計処理
5/15	領　収　証 株式会社ＸＹＺ　様 ★ ¥9,288.－ 但　コピー用紙代として 上記正に領収いたしました 平成27年5月15日 ＸＹ市ＺＡ町3-2-1 ㈲Ｘ文具 会社印	(借)消耗品費　9,288 (貸)現金　9,288 (摘)コピー用紙代 (有)Ｘ文具

5/15	ご請求書兼領収書 株式会社ＸＹＺ　様 雑誌広告代 ★ ¥21,600.－ 領収日：平成27年5月15日 ＸＹ市ＺＡ町2-2-2 Ｌ広告 久会印社	（借）広告宣伝費 21,600 (貸)現金　21,600 (摘)雑誌広告代　Ｌ広告
5/18	ﾄﾞﾗｯｸﾞｽﾄｱｰ ＺドラッグＺＡ店 2015年5月18日 4 × 702 単 お茶　2,808 合計　2,808 内消費税等　208 預り　3,000 釣り　192	（借）福利厚生費 2,808 (貸)現金　2,808 (摘)お茶代　Ｚドラッグ ZA 店
5/21	領　収　証 株式会社ＸＹＺ　様 ★ ¥17,172.－ 但　ご飲食代として 上記正に領収いたしました 平成27年5月21日 ＸＹ市ＺＡ町4-5-6 居酒屋Ｇ 印	(借)交際費　17,172 (貸)現金　17,172 (摘)接待飲食代　居酒屋Ｇ

5/24	スーパーマーケット スーパーM・ZA店 2015年5月24日 4 × 2,079 単 コーヒー 8,316 合計 8,316 （内税 616 ） 預り 10,316 釣り 2,000	（借）福利厚生費 8,316 (貸)現金　8,316 (摘)コーヒー代　スーパーM・ZA店
5/27	領収証書 毎度ありがとうございます ＸＹ市ＺＡ郵便局 2015年5月27日 82円切手 × 50 4,100 合計 4,100 現金お預り 5,100 お釣り 1,000	(借)通信費　4,100 (貸)現金　4,100 (摘)切手代　XY 市 ZA 郵便局
5/31	領　収　証 株式会社ＸＹＺ　様 平成27年5月分　新聞購読料 3,780円(消費税込み) 平成27年5月31日 ＸＹ市ＺＡ町4-9-12 Ｄ新聞販売所 久会印社	(借)雑費　3,780 (貸)現金　3,780 (摘)新聞購読料　D 新聞販売所

<table>
<tr>
<td>5/31</td>
<td>
<table>
<tr><td>ＸＹ市ＺＡ町1-2-3
株式会社ＸＹＺ　様</td><td>ご 請 求 書
毎度ありがとうございます
下記の通りご請求申し上げます
ＸＹ市ＺＡ町4-4-4
Ｐ石油</td></tr>
</table>
領収済み
2015.5.31
<table>
<tr><th>商品名</th><th>数量</th><th>単価</th><th>お買い上げ金額</th></tr>
<tr><td>５月分ガソリン代</td><td>129.29リットル</td><td>¥140.0</td><td>¥18,100</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>消費税等（８％）</td><td></td><td></td><td>¥1,448</td></tr>
<tr><td colspan="3">ご請求金額</td><td>¥19,548</td></tr>
</table>
</td>
<td>(借)旅費交通費
19,548
(貸)現金　19,548
(摘)5 月分ガソリン代
P 石油</td>
</tr>
</table>

ii）売上伝票

一般顧客に対して店頭にて商品を現金販売した場合に、売上伝票が発行されます。売上伝票には、発行日付（販売日付）、販売先の名称、品名、数量、単価、明細金額、税抜合計金額、消費税率、消費税額、税込合計金額が記載されます。

売 上 伝 票

平成27年5月10日

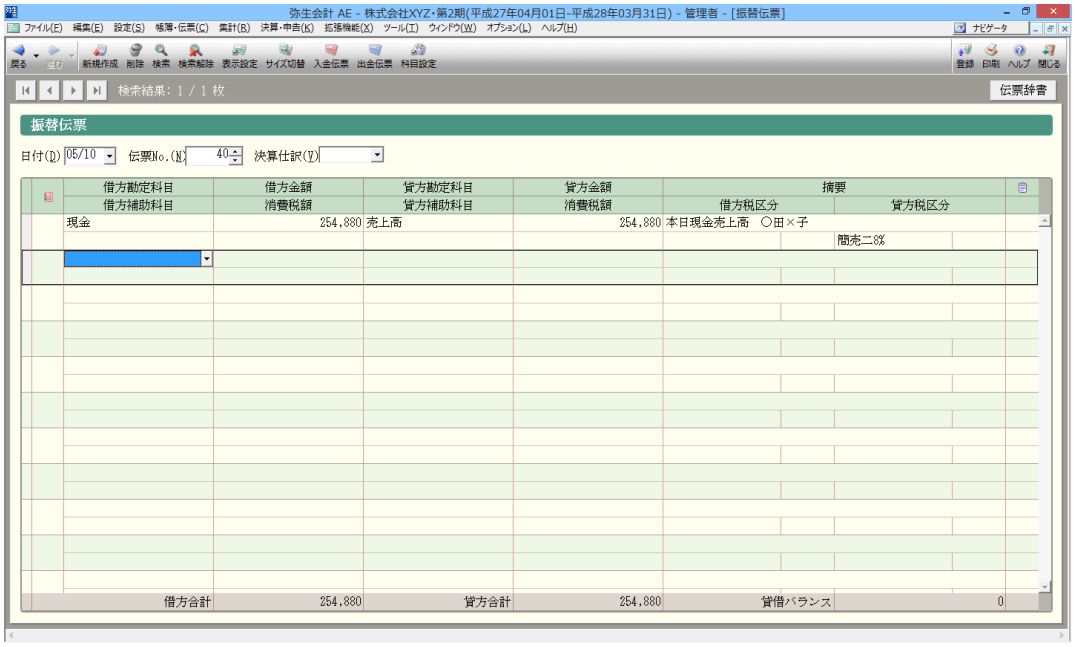
○田×子　様

品名	数量	単価	金額
ABC03	50	4,720	236,000
小計			236,000
消費税等（８％）			18,880
合計金額			254,880

株式会社ＸＹＺ
ＸＹ市ＺＡ町1-2-3

売上伝票は、振替伝票画面、入金伝票画面、現金出納帳画面などから会計ソフトに入力します。

入力日付は発行日付で、借方勘定科目は現金勘定、貸方勘定科目は売上高勘定です。金額には税込合計金額を入力し、摘要には、販売先の名称や現金販売である旨を簡潔に入力します。



iii）給与支払明細書

給与支払明細書は、会社が給与を支給する場合に従業員等に交付される計算明細書です。給与の支給額には基本給のほか、時間外手当、家族手当や通勤手当などの諸手当があります。これらの支給額の合計額から健康保険料、厚生年金保険料、雇用保険料、所得税、住民税などの控除額の合計額を差し引いて差引支給額を計算し、これを従業員等に支給します。

給与支払明細書には、これらの支給額や控除額などのほかに、従業員等の氏名、支給月度、労働時間や時間外労働時間などの勤怠時間などが記載されます。

給与支払明細書

（2015年5月分）

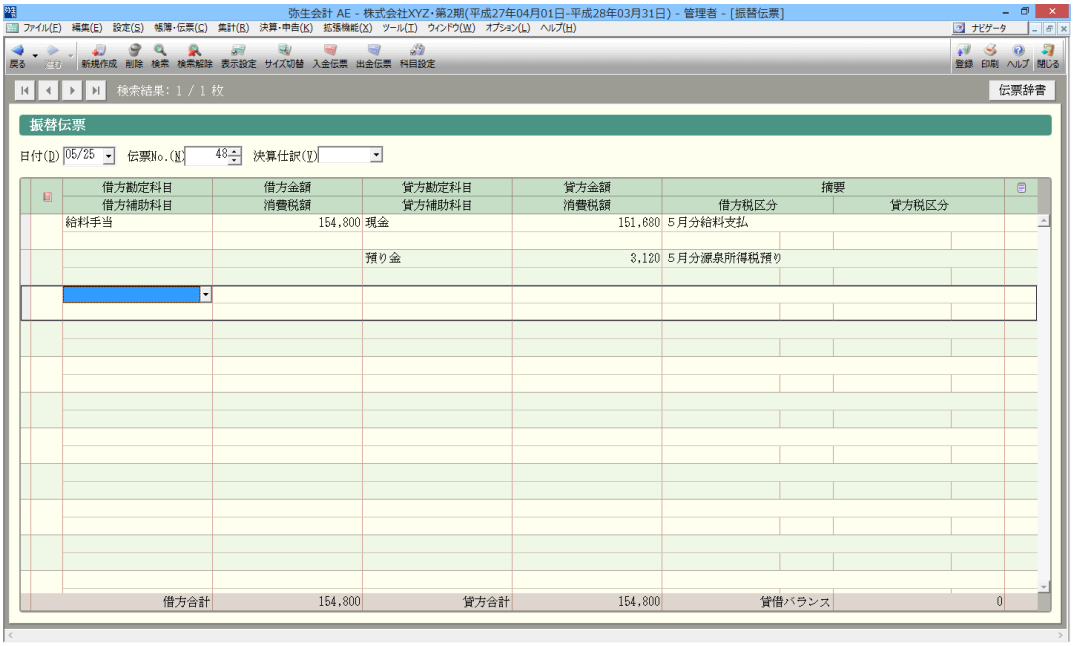
○山△子　殿

勤務日数		20日
残業時間等		24.5時間
支給額	基本給	130,000
	残業手当	24,800
	合計	154,800
控除額	健康保険	
	厚生年金	
	雇用保険	
	所得税	3,120
	合計	3,120
差引支給額		151,680

株式会社ＸＹＺ

給与の支給データを給与支払明細書から個人別に会計ソフトに入力することは現実的ではありません。通常の場合、給与支払明細書の内容をまとめた給与明細一覧表から合計数値のみを入力することになります。本問の場合は、給与の受給者は１名だけなので、給与支払明細書から取引を入力することになります。

給与の支給データは、振替伝票画面、出金伝票画面、現金出納帳画面などから会計ソフトに入力することになります。本問の場合、入力日付は支払日で、借方勘定科目は給与手当勘定、貸方勘定科目は現金勘定です。金額には支払額の合計額を入力し、摘要は５月分給料支払いなどとします。



なお、健康保険料や厚生年金保険料などの控除額については、本問では無視しています。

iv）請求書控

会社は一定期間の商品の売買代金を一定時点で集計して、得意先に対して請求します。この時発行する書類を請求書といいます。また、請求書控は請求書のコピーのことで、会社が請求内容を確認するための資料として保管します。

請求書には、請求書の発行日付、得意先名、請求金額、請求のもとになった取引の内容などが記載されます。

平成27年5月31日

請求書（控）

株式会社H　様

株式会社ＸＹＺ
ＸＹ市ＺＡ町1-2-3

下記の通りご請求申し上げます

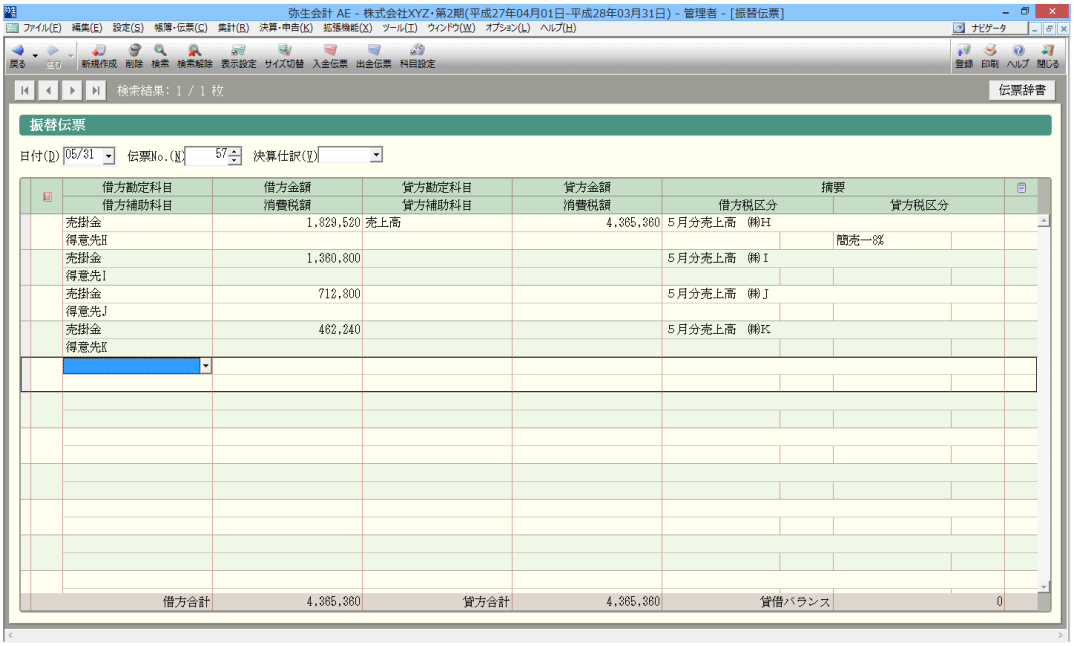
月	日	品名	数量	単価	金額
5	18	ABC01	135	12,500	1,687,500
	30	JJ99	10	650	6,500
小　　計					1,694,000
消費税額（８％）					135,520
合計金額					1,829,520

請求書を受け取った者は、一定の期日までにその代金を支払う必要があります。

本問の場合は、請求書控に基づいて、月に１回、得意先に対する売上高を計上することになります。売上高計上時点ではまだ入金はありませんから、売掛金を計上します。

請求書控は、振替伝票画面、売掛帳画面などから会計ソフトに入力します。

入力日付は発行日付（月末）で、借方勘定科目は売掛金勘定、借方補助科目は得意先勘定、貸方勘定科目は売上高勘定です。金額には税込合計金額を入力し、摘要には月度や取引の内容を簡潔に入力します。



v）請求書

本問では受け取った請求書に基づいて月末に仕入高を計上しています。仕入高の計上時点では支払いは行われていないので買掛金を計上します。

平成27年5月31日

請求書

株式会社ＸＹＺ　様

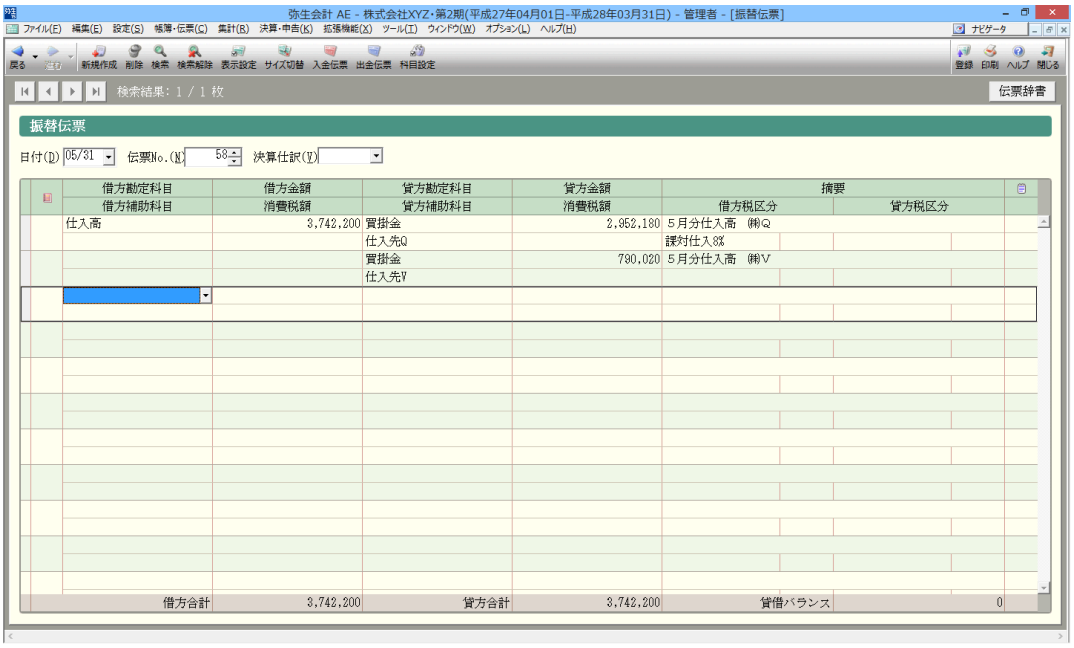
株式会社Ｑ
ＱＲ市ＰＢ町2-3-4

下記の通りご請求申し上げます

月	日	品名	数量	単価	金額
5	15	ABC01	260	10,000	2,600,000
	29	JJ99	267	500	133,500
小　計					2,733,500
消費税額（８％）					218,680
合計金額					2,952,180

請求書は、振替伝票画面、買掛帳画面などから会計ソフトに入力します。

入力日付は月末で、借方勘定科目は仕入勘定、貸方勘定科目は買掛金勘定、貸方補助科目は仕入先勘定です。金額には税込合計金額を入力し、摘要には月度や取引の内容を簡潔に入力します。



vi）総合振込依頼書、インターネットバンキング振込受付結果表

商品売買代金や経費の支払いを銀行振込で一斉に行う場合には、総合振込依頼書を作成して、決められた期日までに銀行に依頼します。

最近では、インターネットバンキングを利用した支払も増加しています。銀行などとの間であらかじめ契約をすることにより、インターネットを経由して指定口座に代金を振り込むことができます。

本問では、インターネットバンキングを利用して、商品の購入代金の支払いを行っています。振込内容の確認のために、インターネットバンキング振込受付結果表などを印刷します。

Ｆ銀行インターネットバンキング
振込受付結果　　2015/5/25 10:04:43

【支払口座】

支店名	科目	口座番号
ＸＹ支店	普通	442****

【ご依頼内容】

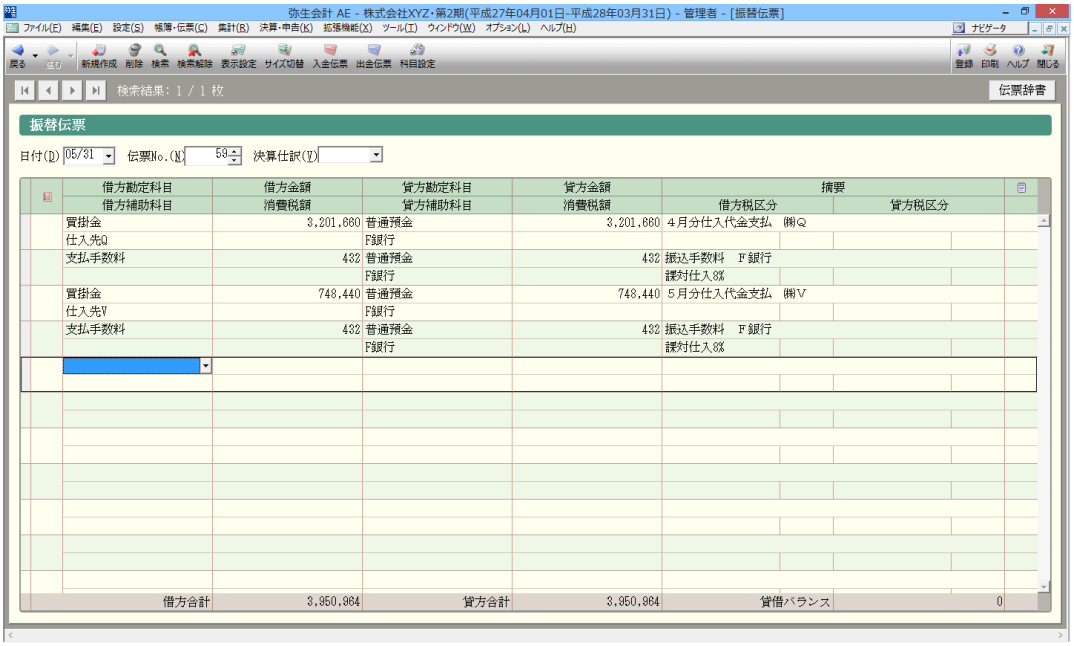
金融機関名	Ｅ銀行
支店名	ＱＲ支店
科目	当座
口座番号	5214***
口座名義人	ｶ)Q
振込金額	3,201,660
振込手数料	432
引落金額	3,202,092
振込日	平成27年5月31日

振込金額と振込手数料は月末に普通預金口座から引き落とされていることが、預金通帳の記帳面から確認できます。

11	27-05-31	家賃	★145,800	Ｓ不動産	★11,113,677
12	27-05-31	IB振込	★3,201,660	ｶ)Q	★7,912,017
13	27-05-31	手数料	★432	振込手数料	★7,911,585
14	27-05-31	IB振込	★748,440	ｶ)V	★7,163,145
15	27-05-31	手数料	★432	振込手数料	★7,162,713
16	27-05-31	振込	ｶ)H	★1,871,100	★9,033,813

インターネットバンキング振込受付結果表は、振替伝票画面、預金出納帳画面などから会計ソフトに入力します。

入力日付は振込日で、振込金額は、借方勘定科目は買掛金勘定、借方補助科目は仕入先勘定、貸方科目は普通預金勘定、貸方補助科目は銀行勘定、摘要は月度や取引の内容を簡潔に入力します。また、振込手数料については、借方勘定科目は支払手数料勘定、貸方科目は普通預金勘定、貸方補助科目は銀行勘定、摘要は取引の内容を簡潔に入力します。

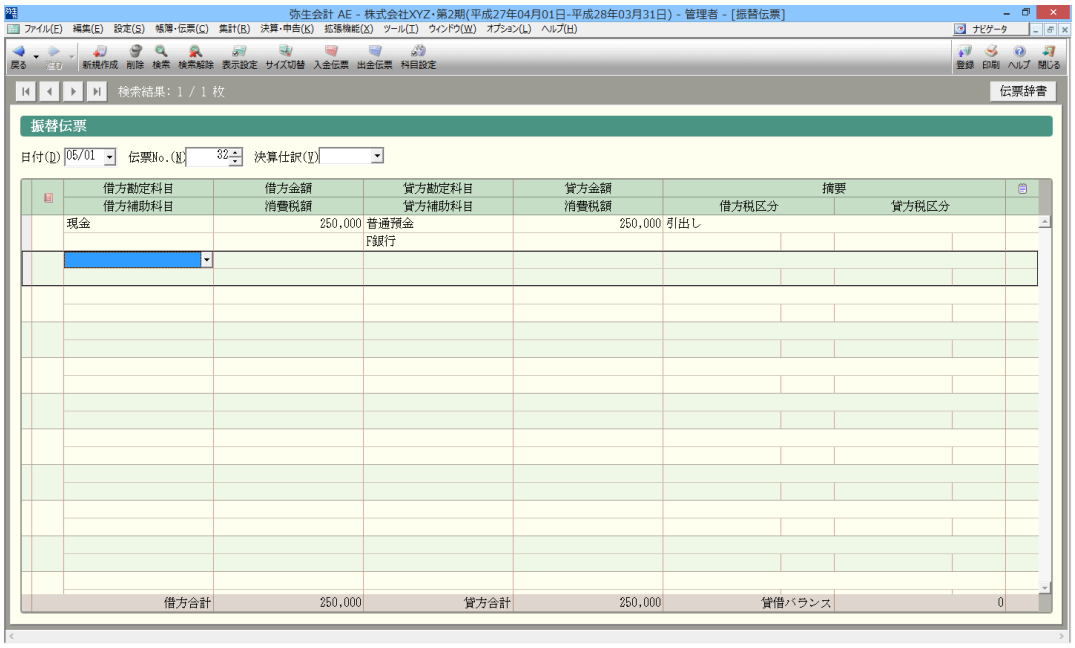


vii）預金通帳

預金通帳には、行番号、取引日付、摘要、お支払い金額、お預かり金額、差引残高などの欄が設けられ、預金口座の増減にかかる取引内容と残高を示しています。

	年月日	摘要	お支払い金額	お預り金額	差引残高
1	27-05-01	繰越			★11,417,321
2	27-05-01		★250,000		★11,167,321
3	27-05-04	電話	★10,260	ＹＹ移動電話	★11,157,061
4	27-05-05	電話	★26,892	ＹＹ電信電話	★11,130,169
5	27-05-09	水道	★1,836	ＸＹ市水道局	★11,128,333
6	27-05-11			★200,000	★11,328,333
7	27-05-26	口座振替	★6,000	Ｔ火災	★11,322,333
8	27-05-27	電気	★17,604	ＹＹ電力	★11,304,729
9	27-05-27	ガス	★3,672	ＹＹガス	★11,301,057
10	27-05-27	ｸﾚｼﾞｯﾄ	★41,580	Ｒクレジット	★11,259,477
11	27-05-31	家賃	★145,800	Ｓ不動産	★11,113,677
12	27-05-31	IB振込	★3,201,660	ｶ)Q	★7,912,017
13	27-05-31	手数料	★432	振込手数料	★7,911,585
14	27-05-31	IB振込	★748,440	ｶ)V	★7,163,145
15	27-05-31	手数料	★432	振込手数料	★7,162,713
16	27-05-31	振込	ｶ)H	★1,871,100	★9,033,813
17	27-05-31	振込	ｶ)I	★1,372,140	★10,405,953
18	27-05-31	振込	ｶ)J	★706,860	★11,112,813
19	27-05-31	振込	ｶ)K	★457,380	★11,570,193
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					

本問で示したのは普通預金通帳の記帳面です。それぞれの行は次のような内容を表しています。仕訳を示したので、それぞれの取引日付で、振替伝票画面や預金出納帳画面から会計ソフトに入力してください。



（5 月 6 日の引き出し処理の例）

<table>
<tr><th>通帳記入面</th><th>取引等の内容と会計処理</th></tr>
<tr><td rowspan="4">
<table>
<tr><th></th><th>年月日</th><th>摘要</th><th>お支払い金額</th><th>お預り金額</th><th>差引残高</th></tr>
<tr><td>1</td><td>27-05-01</td><td>繰越</td><td></td><td></td><td>★11,417,321</td></tr>
<tr><td>2</td><td>27-05-01</td><td></td><td>★250,000</td><td></td><td>★11,167,321</td></tr>
<tr><td>3</td><td>27-05-04</td><td>電話</td><td>★10,260</td><td>ＹＹ移動電話</td><td>★11,157,061</td></tr>
<tr><td>4</td><td>27-05-05</td><td>電話</td><td>★26,892</td><td>ＹＹ電信電話</td><td>★11,130,169</td></tr>
</table>
</td><td>前ページからの繰越残高が 11,417,321 円であることを表します。特に処理はありませんが、補助元帳の 5 月 1 日の普通預金・F 銀行残高と一致しているかどうか確認してください。</td></tr>
<tr><td>250,000 円の引き出しがありました。
(借)現金　250,000
(貸)普通預金・F 銀行　250,000
(摘)引出し</td></tr>
<tr><td>携帯電話料金 10,260 円が口座振替によって引き落とされました。
(借)通信費　10,260
(貸)普通預金・F 銀行　10,260
(摘)携帯電話通話料　YY 移動電話</td></tr>
<tr><td>電話料金 26,892 円が口座振替によって引き落とされました。
(借)通信費　26,892
(貸)普通預金・F 銀行　26,892
(摘)電話料金　YY 電信電話</td></tr>
</table>

通帳記入面	取引等の内容と会計処理
	水道料金 1,836 円が口座振替によって引き落とされました。 (借)水道光熱費　1,836 (貸)普通預金・F 銀行　1,836 (摘)水道料金　XY 市水道局
	200,000 円の預け入れがありました。 (借)普通預金・F 銀行　200,000 (貸)現金　200,000 (摘)預入れ
	自動車保険料 6,000 円が口座振替によって引き落とされました。 (借)保険料　6,000 (貸)普通預金・F 銀行　6,000 (摘)自動車保険料　T 火災
5 27-05-09 水道 ★1,836 XY市水道局 ★11,128,333 6 27-05-11 ★200,000 ★11,328,333 7 27-05-26 口座振替 ★6,000 T火災 ★11,322,333 8 27-05-27 電気 ★17,604 YY電力 ★11,304,729 9 27-05-27 ガス ★3,672 YYガス ★11,301,057 10 27-05-27 ｸﾚｼﾞｯﾄ ★41,580 Rクレジット ★11,259,477 11 27-05-31 家賃 ★145,800 S不動産 ★11,113,677	電気料金 17,604 円が口座振替によって引き落とされました。 (借)水道光熱費　17,604 (貸)普通預金・F 銀行　17,604 (摘)電気料金　YY 電力
	ガス料金 3,672 円が口座振替によって引き落とされました。 (借)水道光熱費　3,672 (貸)普通預金・F 銀行　3,672 (摘)ガス料金　YY ガス
	R クレジットのクレジット代金 41,580 円が口座振替によって引き落とされました。 (借)未払金　41,580 (貸)普通預金・F 銀行　41,580 (摘)クレジット代金支払　R クレジット
	S 不動産に対する事務所家賃 145,800 円が口座振替によって引き落とされました。 (借)地代家賃　145,800 (貸)普通預金・F 銀行　145,800 (摘)5 月分事務所家賃　S 不動産

通帳記入面	取引等の内容と会計処理
	インターネットバンキングにより、振込が行われました。この取引は、上記 vi）によりすでに処理済みです。
	インターネットバンキング振込にかかる振込手数料です。この取引も上記 vi）によりすでに処理済みです。
12 27-05-31 IB振込 ★3,201,660 カ)Q ★7,912,017	得意先Hから売掛代金1,871,100円が振り込まれました。 （借）普通預金・Ｆ銀行　1,871,100円 （貸）売掛金・得意先Ｈ　1,871,100円 （適）４月分売掛代金回収
13 27-05-31 手数料 ★432 振込手数料 ★7,911,585 14 27-05-31 IB振込 ★748,440 カ)V ★7,163,145 15 27-05-31 手数料 ★432 振込手数料 ★7,162,713 16 27-05-31 振込 カ)H ★1,871,100 ★9,033,813 17 27-05-31 振込 カ)I ★1,372,140 ★10,405,953 18 27-05-31 振込 カ)J ★706,860 ★11,112,813 19 27-05-31 振込 カ)K ★457,380 ★11,570,193	得意先Ｉから売掛代金1,372,140円が振り込まれました。 （借）普通預金・Ｆ銀行　1,372,140円 （貸）売掛金・得意先Ｉ　1,372,140円 （適）４月分売掛代金回収
	得意先Ｊから売掛代金706,860円が振り込まれました。 （借）普通預金・Ｆ銀行　706,860円 （貸）売掛金・得意先Ｊ　706,860円 （適）４月分売掛代金回収
	得意先Ｋから売掛代金457,380円が振り込まれました。 （借）普通預金・Ｆ銀行　457,380円 （貸）売掛金・得意先Ｋ　457,380円 （適）４月分売掛代金回収

viii）在庫表

在庫とは、購入した商品のうち、まだ販売されていないものをいいます。在庫表は、一定時点の商品等の在庫表と金額を示す一覧表です。在庫調査日、商品名、数量、単価、金額、消費税額、合計額などが記載されます。

在　　庫　　表

平成27年5月31日現在

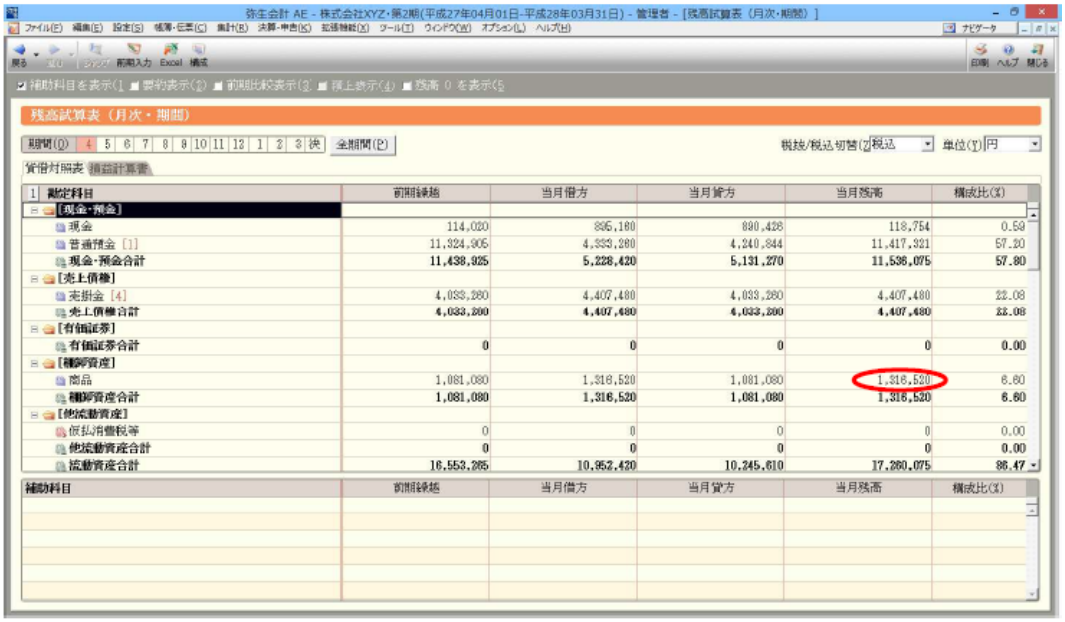
商品名	数量	単価	金額
ABC01	71	10,000	710,000
ABC02	55	5,000	275,000
ABC03	45	3,000	135,000
JJ99	70	500	35,000
小　計			1,155,000
消費税等			92,400
合　計			1,247,400

販売した商品の原価を売上原価といいます。また、売上高から売上原価を差し引いたもうけを売上総利益または粗利といいます。在庫がなければ売上原価と仕入高は一致しますが、在庫があるのでその部分については、仕入高から差し引かなければなりません。ここで差し引く在庫額を月末商品棚卸高といいます。

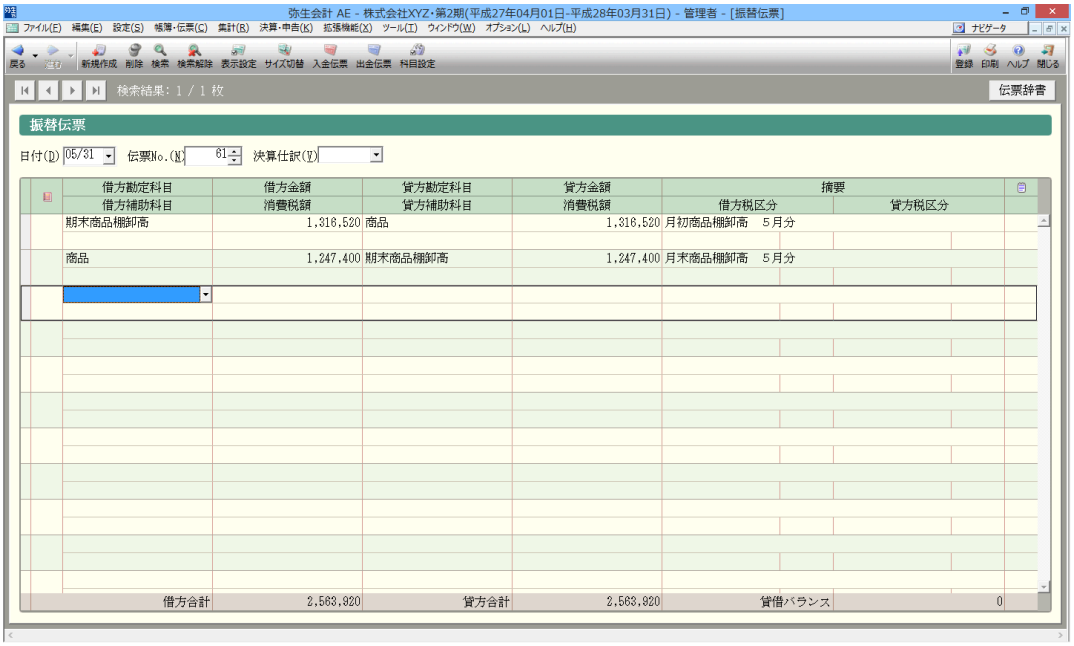
前月から繰り越された在庫がある場合には、前月から繰り越された在庫（月初商品棚卸高といいます）と当月仕入高の合計額から月末商品棚卸高を差し引けば、売上原価を計算することができます。

電子会計では、これらの処理をするために「商品」、「期首商品棚卸高」、「期末商品棚卸高」の 3 つの勘定科目を使用します。商品勘定は商品の在庫額を表す資産勘定で貸借対照表に表示されます。一方、期首商品棚卸高勘定は前期から繰り越された商品の在庫額を、期末商品棚卸高勘定は当期末の商品の在庫額をそれぞれ表す売上原価の内訳勘定で損益計算書に表示されます。

本問では、5 月末の在庫額は在庫表の合計額から 1,247,400 円であることが分かります。また、4 月末の在庫額は 4 月末の商品勘定および期末商品棚卸高勘定の残高ですから、合計残高試算表や総勘定元帳などの電子帳票から確認でき、1,316,520 円であることがわかります。



従って、振替伝票画面からパソコン会計ソフトに次のように入力することになります。



ix）減価償却月割り額

建物、車両運搬具、工具器具備品などの有形固定資産は、使用や時の経過によって価

値が徐々に減少していきます。これらの資産の取得価額は購入した期の費用とせずにいったん資産に計上し、使用可能期間にわたって規則的に各期の費用としていくことになっています。これを減価償却といいます。使用可能期間は資産の種類ごとに法令で定められており、一般的にはこの期間で減価償却することになっています。この期間を耐用年数といいます。また、規則的に費用化する方法には、定額法や定率法などの方法があります。これらの方法は、耐用年数が経過したときに資産の帳簿価額がゼロになるように計算しますが、最後に備忘価格 1 円を残すようにしています。

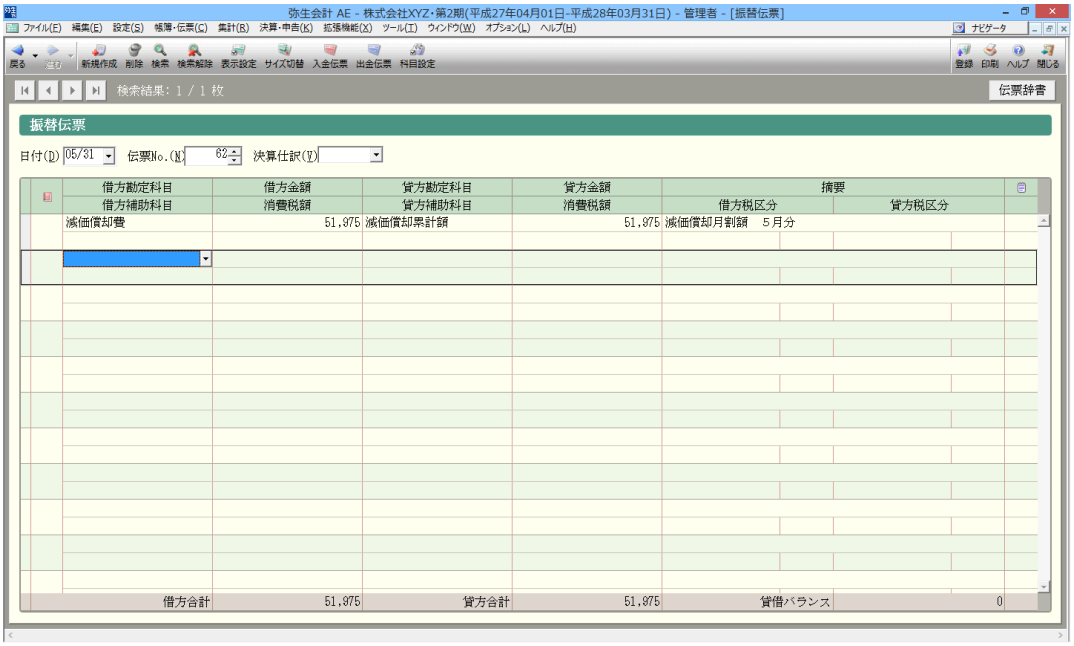
月末に合計残高試算表を作成して会社の資産・負債等の状態や経営状態を把握する場合には、この減価償却費の月割り額を見積もって計上することが一般的です。減価償却費の月割額は、年額を 12 で除して算出します。

減価償却月割額

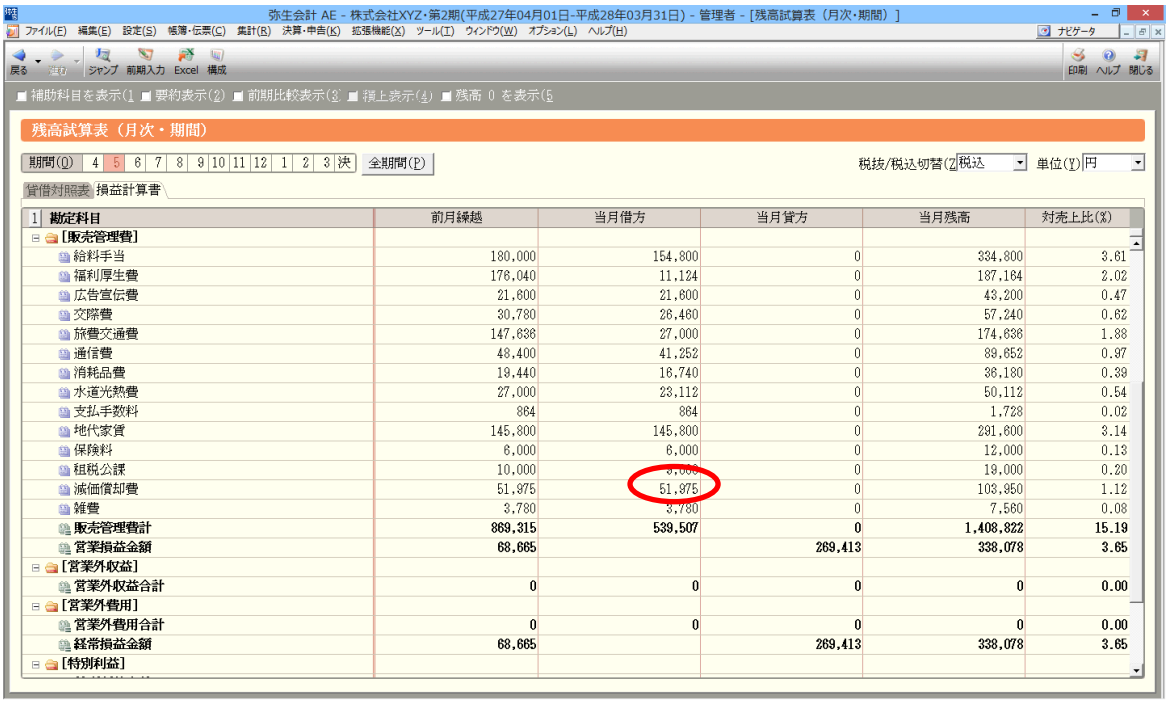
平成27年度

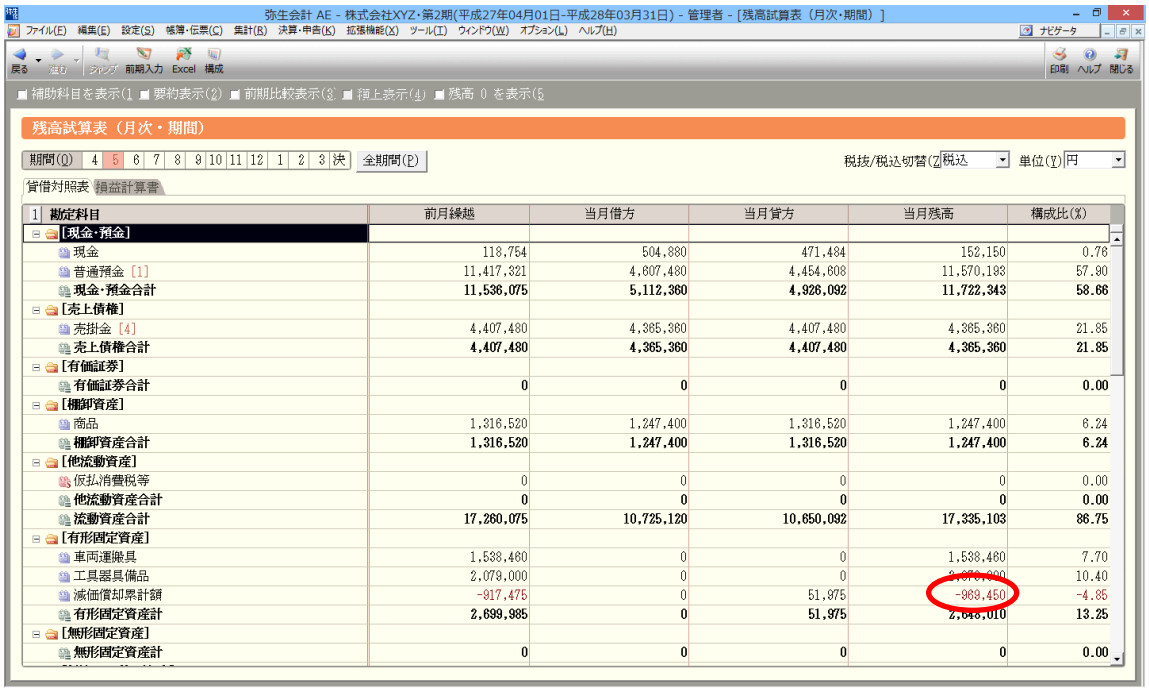
区　　分	年　　額	月割額
車輌運搬具	265,260	22,105
工具器具備品	358,440	29,870
合計	623,700	51,975

電子会計では、振替伝票画面から次のように入力します。



減価償却費勘定は費用勘定で損益計算書に計上され、減価償却累計額勘定は資産のマイナス勘定で貸借対照表に計上されます。





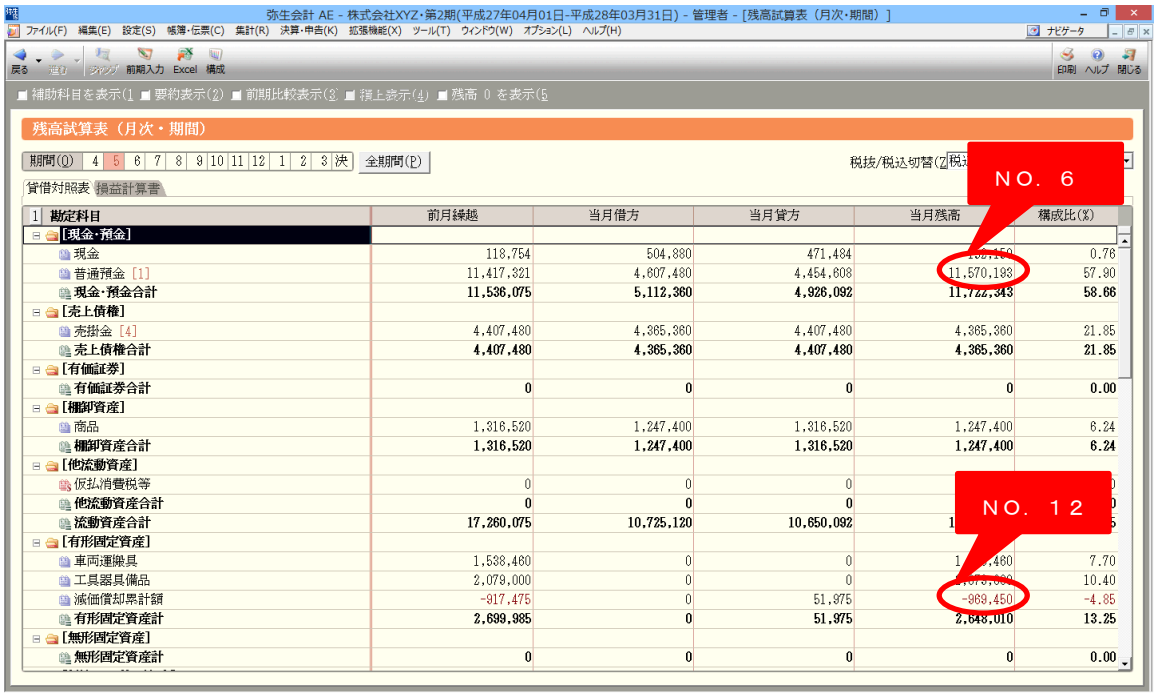
勘定科目	前月繰越	当月借方	当月貸方	当月残高	構成比(%)
[現金・預金]					
現金	118,754	504,880	471,484	152,150	0.76
普通預金 [1]	11,417,321	4,607,480	4,454,608	11,570,193	57.90
現金・預金合計	11,536,075	5,112,360	4,926,092	11,722,343	58.66
[売上債権]					
売掛金 [4]	4,407,480	4,365,360	4,407,480	4,365,360	21.85
売上債権合計	4,407,480	4,365,360	4,407,480	4,365,360	21.85
[有価証券]					
有価証券合計	0	0	0	0	0.00
[棚卸資産]					
商品	1,316,520	1,247,400	1,316,520	1,247,400	6.24
棚卸資産合計	1,316,520	1,247,400	1,316,520	1,247,400	6.24
[他流動資産]					
仮払消費税等	0	0	0	0	0.00
他流動資産合計	0	0	0	0	0.00
流動資産合計	17,260,075	10,725,120	10,650,092	17,335,103	86.75
[有形固定資産]					
車両運搬具	1,538,460	0	0	1,538,460	7.70
工具器具備品	2,079,000	0	0	[illegible]	10.40
減価償却累計額	-917,475	0	51,975	-969,450	-4.85
有形固定資産計	2,699,985	0	51,975	2,648,010	13.25
[無形固定資産]					
無形固定資産計	0	0	0	0	0.00

③＜設問 1＞の解答方法

上記②により、5 月分の会計データの入力が完了したら、入力した電子会計データを見ながら、＜設問 1＞および＜設問 2＞に解答することになります。

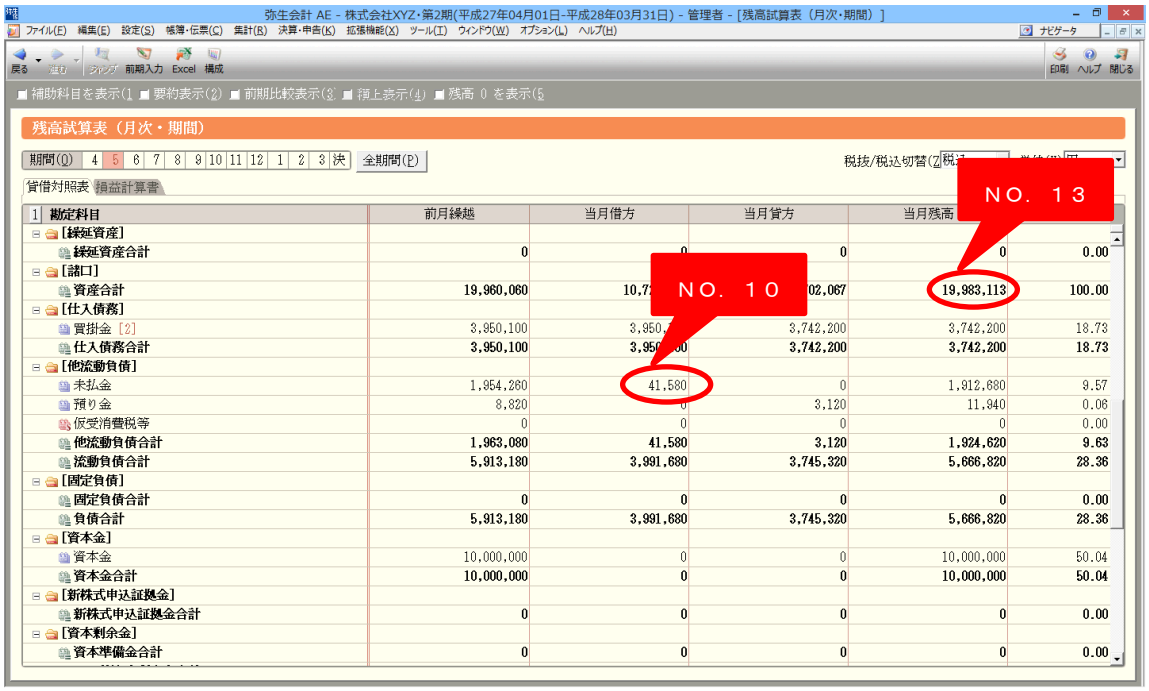
＜設問 1＞では、各勘定の残高や取引金額、貸借対照表や損益計算書の合計数値や利益額を解答することを要求しています。これらの数値は、残高試算表の貸借対照表区分や損益計算書区分、補助科目の表示欄などから求めることができます。

残高試算表の貸借対照表区分では、資産、負債、純資産を勘定科目別に前月（期）残高、借方合計、貸方合計、当月（期）残高として確認することができ、資産合計や負債合計などの区分別合計数値を見ることができます。



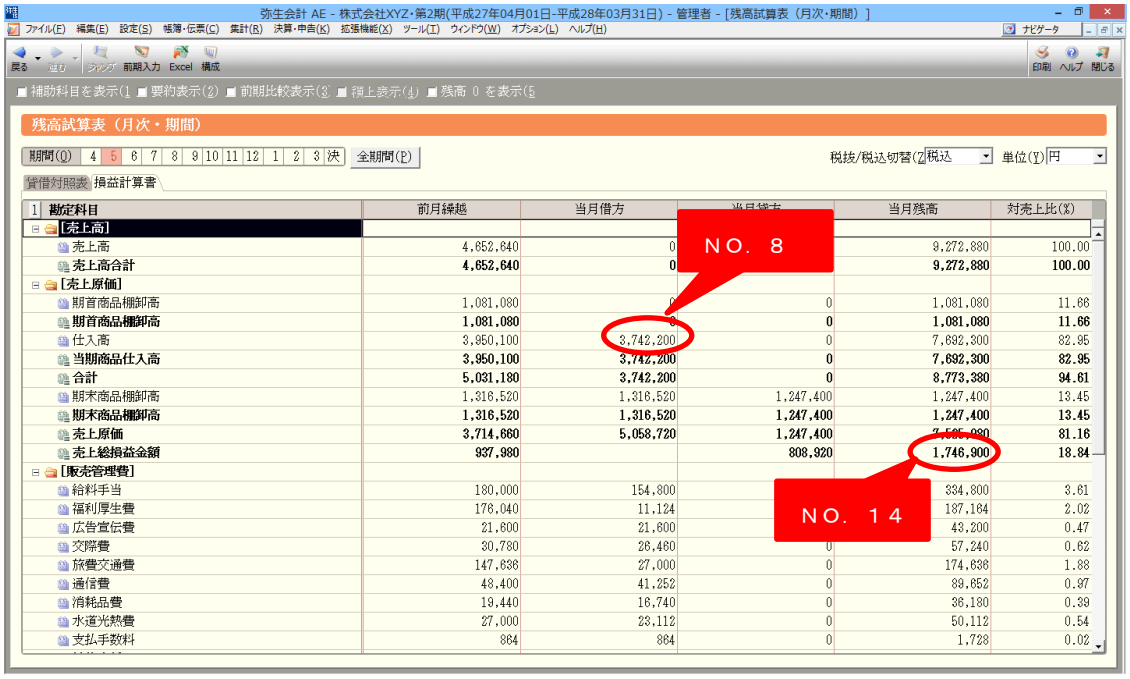
勘定科目	前月繰越	当月借方	当月貸方	当月残高	構成比(%)
[現金・預金]					
現金	118,754	504,880	471,484	[illegible]	0.76
普通預金 [1]	11,417,321	4,607,480	4,454,608	11,570,193	57.80
現金・預金合計	**11,536,075**	**5,112,360**	**4,926,092**	**11,722,343**	**58.66**
[売上債権]					
売掛金 [4]	4,407,480	4,365,360	4,407,480	4,365,360	21.85
売上債権合計	**4,407,480**	**4,365,360**	**4,407,480**	**4,365,360**	**21.85**
[有価証券]					
有価証券合計	**0**	**0**	**0**	**0**	**0.00**
[棚卸資産]					
商品	1,316,520	1,247,400	1,316,520	1,247,400	6.24
棚卸資産合計	**1,316,520**	**1,247,400**	**1,316,520**	**1,247,400**	**6.24**
[他流動資産]					
仮払消費税等	0	0	0	[illegible]	[illegible]
他流動資産合計	**0**	**0**	**0**	[illegible]	[illegible]
流動資産合計	**17,260,075**	**10,725,120**	**10,650,092**	[illegible]	[illegible]
[有形固定資産]					
車両運搬具	1,538,460	0	0	[illegible]	7.70
工具器具備品	2,079,000	0	0	[illegible]	10.40
減価償却累計額	-917,475	0	51,975	-969,450	-4.85
有形固定資産計	**2,699,985**	**0**	**51,975**	**2,648,010**	**13.25**
[無形固定資産]					
無形固定資産計	**0**	**0**	**0**	**0**	**0.00**

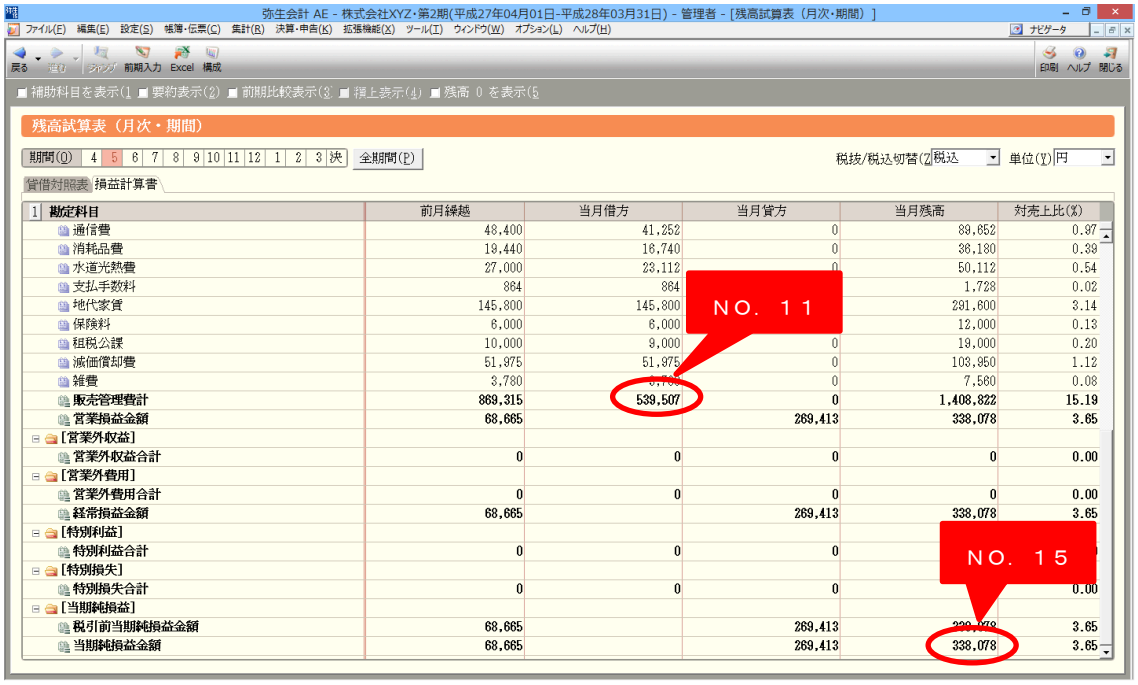
（注）マークの付いている個所は、本問の解答個所です。番号は問題番号を表します。
以下、同様です。



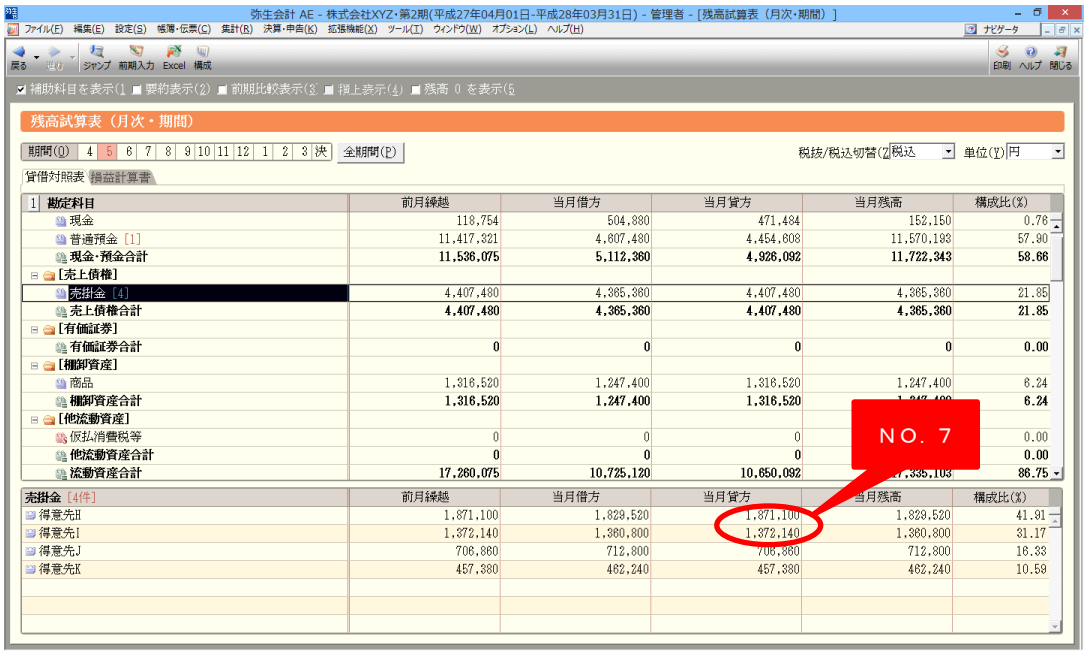
勘定科目	前月繰越	当月借方	当月貸方	当月残高	
[繰延資産]					
繰延資産合計	0	0	0	0	0.00
[諸口]					
資産合計	19,960,060	10,7[illegible]	[illegible]02,067	19,983,113	100.00
[仕入債務]					
買掛金 [2]	3,950,100	3,950,[illegible]	3,742,200	3,742,200	18.73
仕入債務合計	3,950,100	3,950,[illegible]00	3,742,200	3,742,200	18.73
[他流動負債]					
未払金	1,954,260	41,580	0	1,912,680	9.57
預り金	8,820	0	3,120	11,940	0.06
仮受消費税等	0	0	0	0	0.00
他流動負債合計	1,963,080	41,580	3,120	1,924,620	9.63
流動負債合計	5,913,180	3,991,680	3,745,320	5,666,820	28.36
[固定負債]					
固定負債合計	0	0	0	0	0.00
負債合計	5,913,180	3,991,680	3,745,320	5,666,820	28.36
[資本金]					
資本金	10,000,000	0	0	10,000,000	50.04
資本金合計	10,000,000	0	0	10,000,000	50.04
[新株式申込証拠金]					
新株式申込証拠金合計	0	0	0	0	0.00
[資本剰余金]					
資本準備金合計	0	0	0	0	0.00

残高試算表の損益計算書区分では、収益や費用を勘定科目別に貸借対照表と同様の数値を確認することができ、売上原価、売上総利益、当期純利益などの数値を見ることができます。



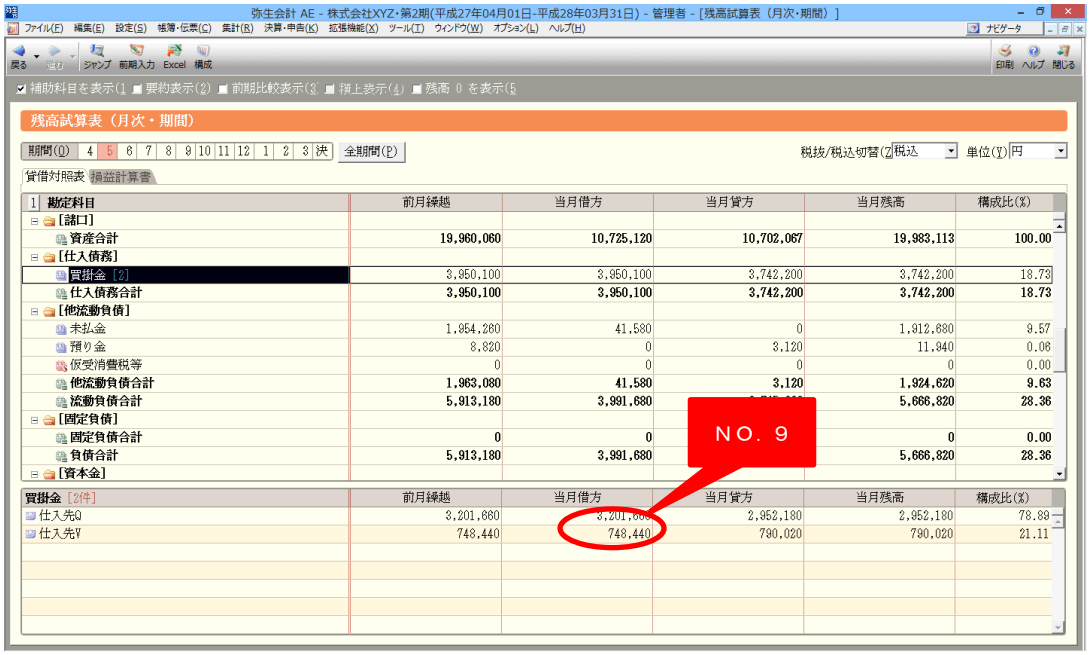


また、残高試算表の補助科目の表示欄では、補助科目ごとの前月残高、借方合計、貸方合計、当月残高を見ることができます。



勘定科目	前月繰越	当月借方	当月貸方	当月残高	構成比(%)
現金	118,754	504,880	471,484	152,150	0.78
普通預金 [1]	11,417,321	4,607,480	4,454,608	11,570,193	57.90
現金・預金合計	**11,536,075**	**5,112,360**	**4,926,092**	**11,722,343**	**58.66**
[売上債権]					
売掛金 [4]	4,407,480	4,365,360	4,407,480	4,365,360	21.85
売上債権合計	**4,407,480**	**4,365,360**	**4,407,480**	**4,365,360**	**21.85**
[有価証券]					
有価証券合計	**0**	**0**	**0**	**0**	**0.00**
[棚卸資産]					
商品	1,316,520	1,247,400	1,316,520	1,247,400	6.24
棚卸資産合計	**1,316,520**	**1,247,400**	**1,316,520**	[illegible]	**6.24**
[他流動資産]					
仮払消費税等	0	0	0	[illegible]	0.00
他流動資産合計	**0**	**0**	**0**	[illegible]	**0.00**
流動資産合計	**17,260,075**	**10,725,120**	**10,650,092**	[illegible]	**86.75**

売掛金 [4件]	前月繰越	当月借方	当月貸方	当月残高	構成比(%)
得意先H	1,871,100	1,829,520	1,871,100	1,829,520	41.91
得意先I	1,372,140	1,360,800	1,372,140	1,360,800	31.17
得意先J	706,860	712,800	706,860	712,800	16.33
得意先K	457,380	462,240	457,380	462,240	10.59



勘定科目	前月繰越	当月借方	当月貸方	当月残高	構成比(%)
[諸口]					
資産合計	**19,960,060**	**10,725,120**	**10,702,067**	**19,983,113**	**100.00**
[仕入債務]					
買掛金 [2]	3,950,100	3,950,100	3,742,200	3,742,200	18.73
仕入債務合計	**3,950,100**	**3,950,100**	**3,742,200**	**3,742,200**	**18.73**
[他流動負債]					
未払金	1,954,280	41,580	0	1,912,680	9.57
預り金	8,820	0	3,120	11,940	0.06
仮受消費税等	0	0	0	0	0.00
他流動負債合計	**1,963,080**	**41,580**	**3,120**	**1,924,620**	**9.63**
流動負債合計	**5,913,180**	**3,991,680**	[illegible]	**5,666,820**	**28.36**
[固定負債]					
固定負債合計	**0**	**0**	[illegible]	**0**	**0.00**
負債合計	**5,913,180**	**3,991,680**	[illegible]	**5,666,820**	**28.36**
[資本金]					

買掛金 [2件]	前月繰越	当月借方	当月貸方	当月残高	構成比(%)
仕入先Q	3,201,660	3,201,660	2,952,180	2,952,180	78.89
仕入先V	748,440	748,440	790,020	790,020	21.11

次の表は、本問の各設問に対してどの集計表のどこを見ればよいかの一覧です。集計期間は５月、税処理は税込としてください。

No.	設問	確認する集計表	確認する個所
6	普通預金の５月末残高	残高試算表 （貸借対照表）	普通預金勘定の残高
7	得意先 J に対する売掛金の５月の回収額	残高試算表 （売掛金の補助科目表示欄）	得意先Ｊの貸方金額
8	５月の仕入総額	残高試算表 （損益計算書）	仕入高の借方金額
9	仕入先 V に対する買掛金の５月の支払額	残高試算表 （買掛金の補助科目表示欄）	仕入先Ｖの借方金額
10	未払金の５月の支払額	残高試算表 （貸借対照表）	未払金勘定の借方金額
11	５ 月の販売費および一般管理費の合計額	残高試算表 （損益計算書）	販売管理費計の借方金額
12	５月末の減価償却累計額	残高試算表 （貸借対照表）	減価償却累計額勘定の残高（注 1）
13	５月末の資産合計	残高試算表 （貸借対照表）	資産合計の残高
14	５月末の売上総利益	残高試算表 （損益計算書）	売上総損益の残高（注 2）
15	５月末の当期純利益	残高試算表 （損益計算書）	当期純損益の残高（注 2）

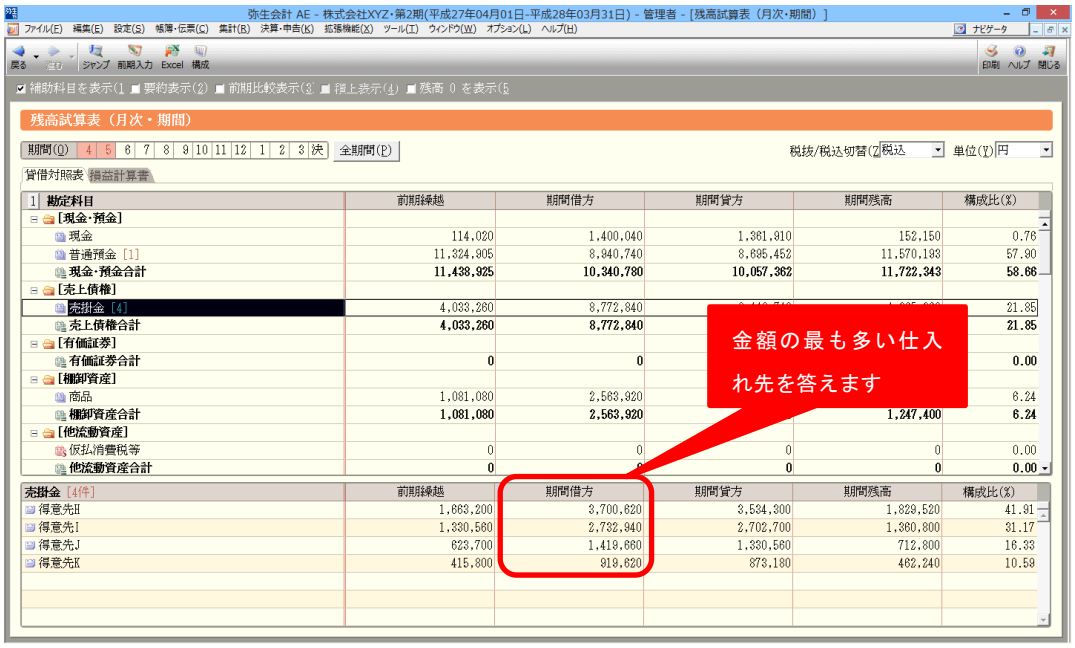
（注 1）減価償却累計額は車両運搬具や工具器具備品などの有形固定資産から控除する形式で表示されているため、マイナス表示となっています。従って、解答の際にはマイナスを取ったプラスの値を選択してください。
（注 2）残高試算表における損益計算書では、残高の金額は集計期間の累計額を示しています。

④＜設問 2＞の解答方法

＜設問 2＞については、主に取引の内容についての設問です。各設問は次のように解答します。

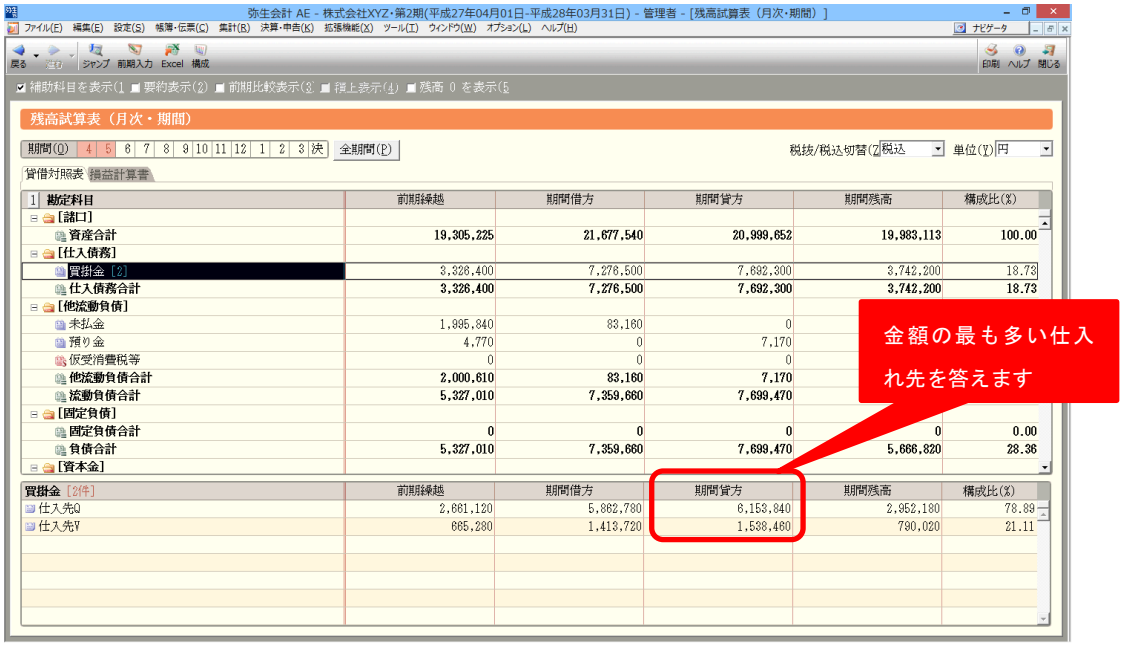
No.16　5月末までの売上高が最も多かった得意先

残高試算表の集計期間を4月～5月とします。売掛金勘定の補助科目の借方合計が各得意先に対する売上高を表していますから、その中から最も高い数値の得意先を調べればよいことになります。答えは、得意先Hです。



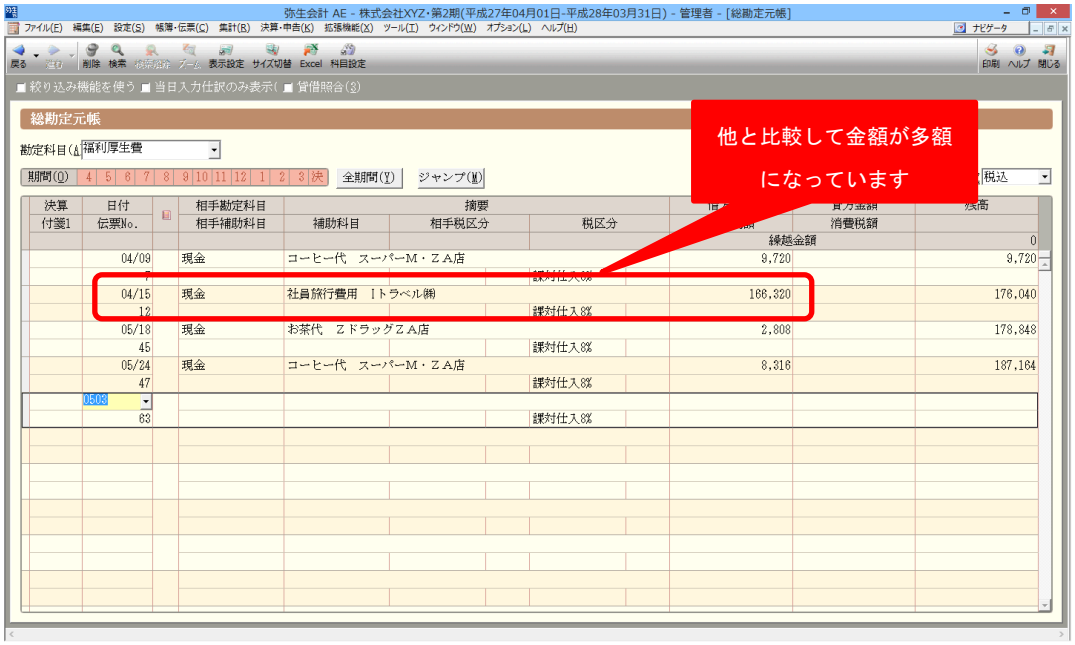
No.17　5月末までの仕入高が最も多かった仕入先

No.16と同様に残高試算表の集計期間を4月～5月とします。買掛金勘定の補助科目の貸方合計が各仕入先に対する仕入高を表していますから、その中から最も高い数値の仕入先を調べればよいことになります。答えは、仕入先Qです。



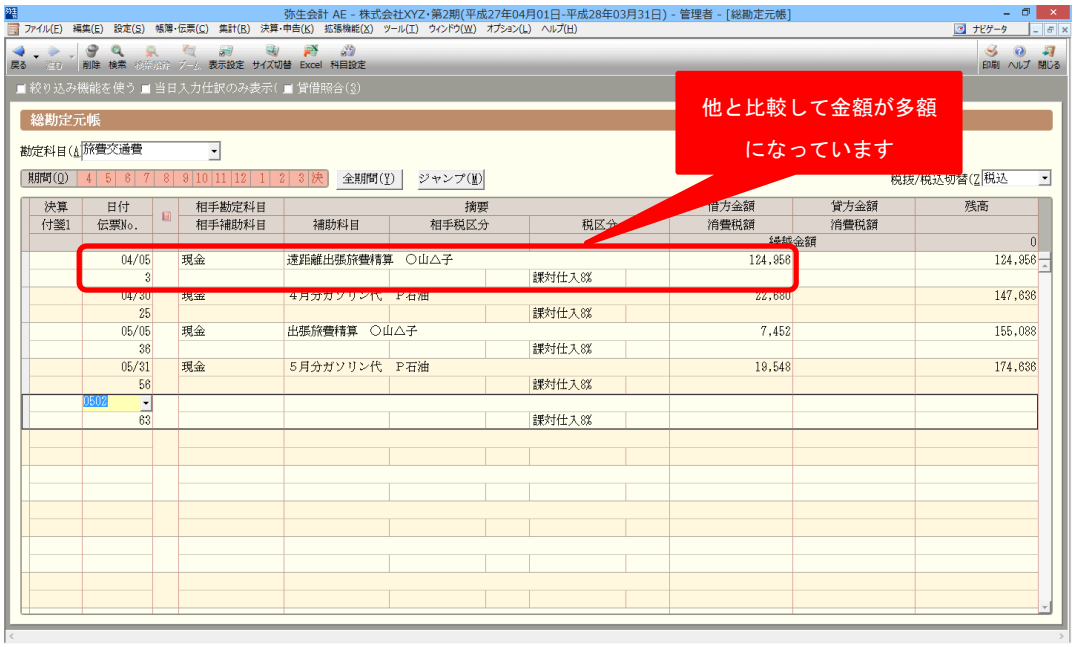
No. 18　4 月の福利厚生費が 5 月に比較して多額となっている原因

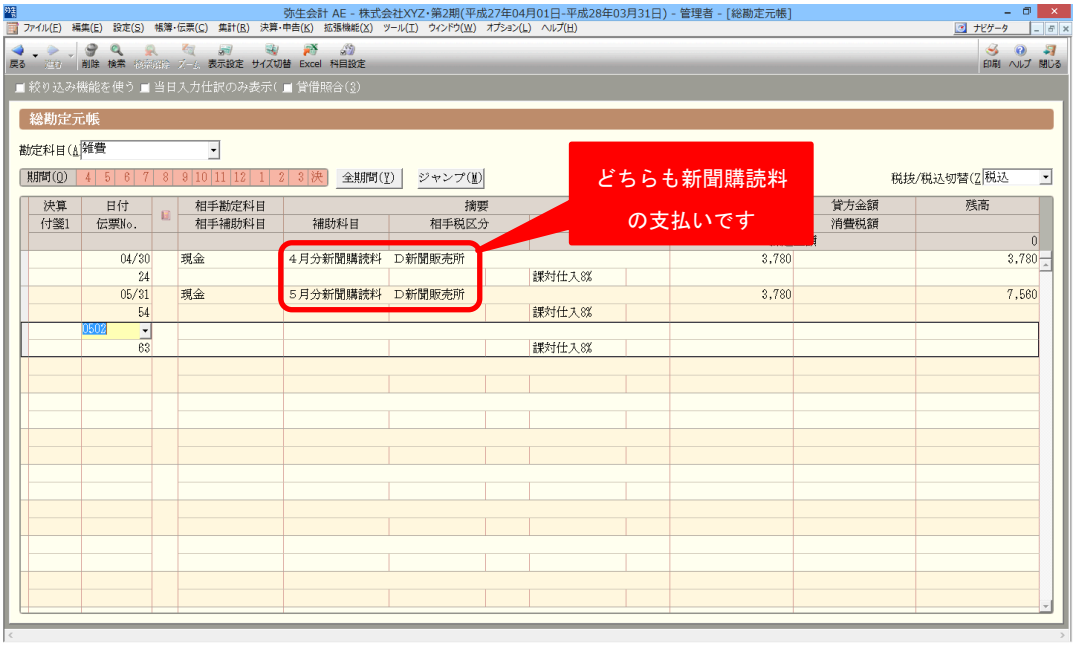
総勘定元帳で福利厚生費勘定を見ると、4 月 15 日に社員旅行費用として、166,320 円の支出があったことが分かります。



No.19　4月の旅費交通費が5月に比較して多額となっている原因

総勘定元帳で旅費交通費勘定を見ると、4月5日に遠距離出張旅費精算として、124,956円の支出があったことが分かります。



No.20　雑費の内容

総勘定元帳で雑費勘定を見ると、新聞購読料の支払いであることが分かります。